

第38回

「地球温暖化」をはじめとする環境問題がますます身近になる一方で、世界の国々が賛同できる国際枠組みの構築は困難な状況にあります。

このような状況下で対策が急がれる中、国際社会はどのように取り組むべきなのでしょう。

CSRの最先端アメリカでの実体験をもとに日本企業向けのCSRコンサルティングを行うコーポレートシチズンシップ代表の雨宮氏から世界で行われている地球環境問題解決への取り組み等について、ご紹介いたします。

コーポレートシチズンシップ 代表取締役 雨宮 寛氏



マクドナルドの粋なサービス&洋上大学2013年春学期寄港

今年1月、同月26日を建国記念日とするオーストラリアで、世界的外食企業のマクドナルドが、地元での同社の愛称である「マッカズ (Macca's)」に店舗の看板を取り換える企画を展開しました。建国記念日前後の数週間、マクドナルドは地元のブランドに変わりました。グローバルとローカルを合わせたグローバルという言葉がビジネス誌などに使われることがあります。マクドナルドのような外食産業には命ともいえるブランドを地元の呼び名に変えるということは、まさにグローバルな試みだと思えます。

筆者が粋に感じたことは、このオーストラリアの話だけではありません。マクドナルドは、英国で、日本でも子供たちに大人気の「ハッピーセット」(英国ではHappy Meal)で本を無料で提供しています。日本では漫画やテレビのキャラクターのおもちゃがついてきますが、英国では5週間の期間限定で本を無料で提供することを開始しました。肝心の対象となる本ですが、英国で子供たちに非常に人気のある「アメーzing・ワールド」のシリーズということです。動物や星、海などの項目別に不思議な事柄を写真やイラスト付きで解説する本です。英国で識字能力向上を支援する慈善団体「ナショナル・リテラシー・トラスト」が21000人の子供たちを対象に行った調査では、子供たちが本を所有することと子供たちの識

字能力の上達には高い関連性があることが明らかになったそうです。そのため、このマクドナルドの試みは高く評価されているようです。しかし、実際のところ、子供たち自身が本のプレゼントを心から喜んでいるのかはわかりません。5週間後のこの企画が終わった段階で、ハッピーセットの売上への影響が出てくると思います。その段階で、マクドナルドのハッピーセットを頼むことから得られる満足感に本がマッチするのかがということが判明すると思います。英国のマクドナルドは2014年末までに1500万冊の本(含むフィクションおよびノンフィクション)をハッピーセットを通じて配布する計画で、実際にこの目標に到達すればマクドナルドは世界最大の本屋さんになるということです。今後も期待してみたいと思います。

さて、今年も1月27日(日)朝~28日(月)夜の日程で、洋上大学(正式名称「セメスター・アット・シー(直訳:洋上での1学期)」が横浜港に寄港しました。ここ10年ほどは横浜港と神戸港を年二回(春学期と秋学期)訪れていたのですが、東日本大震災のあった2011年から日本への訪問は年1回となっています。今回は大学生約750人、教職員約150人、シニアの参加者約50人、そして船長および乗組員約100人の1000人を超える人々が、大棧橋に来ました。

今回も神奈川県善意通訳者の会（KSGG）のボランティアのみなさんに様々な企画をして頂きましたので、ここでご紹介させて頂きたいと思います。



大棧橋に到着した洋上大学の船「エクスプローラー」

部から座禅、家庭訪問の参加した学生、教職員の皆からとても楽しく、貴重な経験ができ、とても満足しました、とのコメントを頂戴しました。



座禅体験

20人ほどの学生や教職員の方々が鎌倉の長寿寺を訪れ、座禅体験をさせて頂きました。参加者の全員がこれまで座禅を組んだことがなかったので、とても貴重な体験が出来たと喜んでいました。大棧橋でKSGGの方から鎌倉時代やお寺について15分程度のレクチャーをして頂き、その後徒歩で日本大通駅からみなとみらい線に乗り、横浜駅で横須賀線に乗り換え、北鎌倉駅まで行きました。地元で電車など走っていない町から来た学生もいたので、日本の電車の効率的な運営に非常に感動していました。



習字体験

横浜港の寄港はわずか1日半です。それだけの短い期間の中でも、日本の歴史や文化、そして日本人の良いところを経験してもらえんということに改めて感じた機会でした。



長寿寺座禅体験参加者の集合写真

略歴

コーポレートシチズンシップ代表取締役。DWMアセット・マネジメント；DWMインカムファンズ日本代表。明治大学公共政策大学院兼任講師。CFA協会認定証券アナリスト。NPO法人ハンズオン東京理事。コロンビア大学ビジネススクール経営学修士およびハーバード大学ケネディ行政大学院行政学修士。クレディ・スイスおよびモルガン・スタンレーにおいて資産運用商品の商品開発を担当。2006年コーポレートシチズンシップを創業。「あなたのTシャツはどこから来たのか？」（ビエトラ・リポリ著 東洋経済新報社）「暴走する資本主義」[余震 そして中間層がいなくなる]（ロバート・ライシュ著 東洋経済新報社）などを翻訳。「アショカDVD・社会起業家シリーズ」監修。

また、KSGGの複数のご家庭で数人の学生をご招待頂きました。ご自宅で家庭料理を持って成して下さったり、習字体験や着物の着付け体験などをして下さったご家庭もありました。後日、洋上大学の本